



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017-18 年度
国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー
藤中秀幸
GOVERNOR: Hideyuki Fujinaka
IWAKUNI CHUO ROTARY CLUB

「ガバナーを退任するにあたって」

2015年1月、2017-18年度ガバナー予定者に決定されて以来、GND,GN,GEを経て2017年7月にガバナーに就任し、本年6月30日をもって無事その任を終えることができました。これもひとえに今までご指導、ご支援を頂いたパストガバナーやガバナー補佐をはじめとする地区役員並びに地区事務局の皆様、そして地区内すべてのロータリアンの皆様のご協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

さて、2014年12月クラブ年次総会でガバナー輩出が決定され、私がその候補者となって以来、右も左もわからないまま出発しました。2011-12年度の田村泰三ガバナー、田村邦夫代表幹事から色々と御指南を頂くと共に地区事務局の協力により準備を進めることができました。

私はガバナー信条として「時代の変化の先頭に立とう!!ロータリーの心で地域の創生を!!」そして目標として「ロータリーの元気は地域の元気」を掲げました。今日の世界と日本の政治、経済、社会の劇的な変化を鑑みたとき、百十数年に及ぶロータリーの歴史、その中で培われてきたロータリーの基本理念である中核的価値観をしっかりと認識し、ロータリアン一人ひとりが廣告塔とし

て世界や地域社会で奉仕活動を実践することが極めて重要であると考えたからです。

73クラブの公式訪問は、ガバナー補佐の皆様のご尽力と各クラブ会長のご協力により楽しく有意義なものでした。すべてのクラブが地域社会のニーズを考え、クラブの現状を鑑みながらクラブの歴史と伝統の上に創造をめざして奮闘されている姿を垣間見て深く感銘を受けました。特にフォーラムでの2016年規定審議会で決定された「クラブ運営の柔軟性」についての議論では、少子高齢化が急速に進展する地域社会にあって、ロータリーの理念を堅持しつつ変革することの困難さを痛感すると共に、互いのクラブ文化を尊重しつつ共感の持てる奉仕活動について連携することの重要性を強く感じずにはいられませんでした。

IMIはガバナー補佐の皆様の個性を活かしたいけれど素晴らしい企画でした。IACは、萩光塩学院においてメルセダリアンIACが、またRACは広島中央RACが、各々萩RC及び広島中央RCが提唱クラブとなって設立総会並びに結成認定状伝達式が挙行されました。青少年が減少する時代です。提唱クラブのみではなく近隣のクラブも連携しながら育成・支援をする必要があります。

特にRACは存続の危機にあります。アクターの個人的負担の格差を減少させるための基金の創設は吉原年度に引き継いで頂きます。また、知的資産の活用についても同様です。これからはパストガバナーとして地区の発展に協力していく所存ですので、今後共よろしくお願ひ致します。最後に国際ロータリー第2710地区73クラブの発展とロータリアンの皆様のご健勝・ご活躍を心からお祈りして退任のあいさつとさせて頂きます。1年間誠にありがとうございました。

ロータリー：変化をもたらす



Contents

ガバナーメッセージ	1	奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶	9~10
各グループガバナー補佐退任のご挨拶	2~7	米山記念奨学会委員長としてのご挨拶	10
地区代表幹事退任のご挨拶	8	ロータリー財団委員長(一年を振り返って)	10
クラブ管理運営委員長退任のご挨拶	8	会員増減・出席率(5月度) 特別コラム	11
公共イメージ委員長退任のご挨拶	8~9	新会員紹介・物故会員紹介	12
会員増強委員長退任のご挨拶	9	月信編集委員長後記	12

ガバナー月信 2018年 7月号



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G1ガバナー補佐 室中 俊郎

2016年10月10日の第1回ガバナー補佐会議において、今後の日程表をいただいた時から、翌年の7月1日までの間、RLIディスカッションリーダー研修、3回にわたる第9期RLI、PETSや地区研修・協議会、またグループ1での藤中ガバナーを囲む会などに参加して学んだことを基に、少しガバナー補佐としての責務を全うしていく心構えが出来たと思います。

各クラブへのガバナー補佐訪問においては、クラブのメンバーの皆様方から温かく迎えていただきと共に、クラブ協議会においては、クラブの現況報告等をお聞かせいただき、クラブの抱えている問題、藤中ガバナーへの質問などをお聞かせいただきました。続くガバナー公式訪問では、藤中ガバナーの各クラブからの質問に対する的確で温かいご指導のもと、有意義なクラブフォーラムを開催する事が出来ましたことを感謝しております。

又、4回にわたる各クラブ訪問においては、各クラブの特色

ある奉仕活動の素晴らしさを感じると共に、色々と勉強させていただくことが出来ましたことは貴重な体験でした。

2018年2月17日に開催されました、グループ1のIMにおいては、藤中ガバナーが提唱されておられる「クラブの元気が地域の元気」のテーマのもと、基調講演に地区研修リーダーの沖田パストガバナーによる「元気なクラブとは」という演題のお話をいただき、パネルディスカッションは各クラブの会長様をパネラーとして「各クラブの自慢の活動」をテーマに、今年の各クラブの元気で素晴らしい自慢の奉仕活動を語っていただき、有意義で実りのあるIMとなりました。

最後に、藤中ガバナーをはじめとして、グループ1の皆様方から多大なるご協力いただいたことを心より感謝申し上げます。

一年間本当に有難うございました。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G2ガバナー補佐 山田 通夫

国際ロータリー第2710地区、藤中秀幸ガバナーの信条「時代の変化の先頭に立とう!!ロータリーの心で地域の創生を!!」に強い感銘をうけました。本当にすばらしい信条と感銘し、ガバナー補佐の研修や活動に力を尽くしました。もちろん、各クラブの皆さんのご支援・ご協力があったからであります。誠に有難く存じました。

藤中ガバナーのG2・7クラブの公式訪問に際して、前後のガバナー補佐の訪問を温かく迎え、いささか私的な議論にも笑顔で対応して下さった各クラブの役員の方々に厚くお礼申し上げます。

2016年規定審議会でのクラブ運営の大幅な柔軟性の認可が、実際に動きはじめました。これが定着するまでいろいろな試行が重ねられることだろうと思います。この試みの作業こそがクラブ活動の大きな進化の基となるに違いないと信じています。

2018年2月のIMの開催に当たり、宇部西ロータリークラブ会員全員のバックアップもあり、天候にも何とか恵まれて所期の目的を達することが出来たと思います。とくに各クラブの会長

さんにはご協力を深謝します。

藤中ガバナーは各クラブの会員数増強や女性会員のさらなる加入に力を入れられました。これを受けて新しいロータリアンが少しずつ増えてきています。ガバナーは小さいクラブの復活こそがロータリークラブのエネルギーの復活であると信じておられ、このようなクラブへのバックアップをやろうよと頑張っておられました。

ガバナー補佐として、G2・7つのクラブが前向きに運営されて行くよう努力してきたつもりです。

人間味あふれる藤中秀幸ガバナーのもとで、与えられた任務を十分に發揮できませんでしたが、グループ内のロータリアンの皆様に温かくご協力頂き、お世話様になりましたこと、深く感謝し厚くお礼申し上げます。各クラブでの植樹とそのあととの作業で緑が確実に増えたことをうれしく思っております。健康維持のための日常生活への注意にも本物となりつつあると感じております。1年間のご指導有難くお礼申し上げます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G3ガバナー補佐 牛見 正彦

ガバナー補佐としての仕事始めは、2016年の10月10日の第1回ガバナー補佐会議でした。この会議で、「ガバナー補佐の任務と役割」やRLIについての講義を受けて、これは、やっかいなものを引き受けてしまったなど後悔したのを覚えています。いま、足かけ3年、20ヶ月にわたる長丁場が終わろうとしています。

この間、2人の補佐幹事の協力に支えられ、さらにグループ内の多くの会員の皆様の友情や寛容の精神に助けられて、何とか無事に任務を終えられることを大変ありがとうございました。

RLIのディスカッションリーダーは、まさに冷や汗ものでしたが、この経験をおして多くのことを学ばせていただきました。また、クラブ訪問では、それぞれのクラブが共通のロータリー精神に基づきながらも、それぞれ独自の個性や方針を持って、さまざまな活動を行い、成果を挙げておられることを知り、感銘を受けました。

ロータリークラブが100年を超す歴史の中で、今なお発展を続いているのは、組織として、このような多様性を許容する

おおらかさを持っているからではないかと感じた次第です。

IMでは、今年が明治維新150年に当たることから、会津藩側から、会津藩第14代当主・松平保久氏、長州藩側からは萩博物館特別学芸員・一坂太郎氏をお呼びして、幕末史に焦点を当てて講演やディスカッションをお願いしました。普段聞くことのできない、幕末における会津の様子を直接うかがうことができるなど、有意義な会となりました。

IMの次の日、松平保久氏をご案内して、数奇な運命をたどって長州藩士に引き取られ養育された、白虎隊士・飯沼貞吉の記念碑を山口県美祢市に訪ね、さらに、石版画「白虎隊自刃図」を大切に掲げ続けている萩市唐樋町の地蔵堂にお参りしたことも記念すべき思い出となりました。

この企画に献身的に取り組んでいただいた、末長実行委員長を始め実行委員の皆さんに心からの謝意を捧げます。

終わりに当たり、1年間温かいご支援とご協力をいただいたすべての皆様方にお礼申し上げます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G4ガバナー補佐 藤村 哲一

補佐としての任期も、残り1か月と思いながら、原稿用紙に向かっています。当クラブから補佐を選出しなければならないと、歴代会長会議が行われたのが、一昨年の3月頃。他人事のように思って出席したら、他人事のように決められてしまった…。そこからが始まりでした。過度なプレッシャーに陥り、当時の補佐さんに会う毎に聞いたり、我がクラブの先輩にも、不安・不満と言う愚痴をこぼしていたのを覚えています。

そういうしている間に、その年早速、ガバナー補佐会議の第一回目が始まりました。ガバナーエレクト、次年度地区役員、他各12グループの補佐さん達の自己紹介、補佐としての役割任務、17-18年度の年間スケジュールがすでに出来ており、この日全部出席?と日数を数えた気がします。そしてガバナーエレクトの挨拶では「地域を愛し、地域に奉仕」をと、地域に貢献の地区信条に共感したのを覚えています。

しかしながら、そこからが甘くはなかった。第二回、三回と

補佐会議、その間並行して第9期RLIプログラムにDLとしてパート1,2,3と参画し、各分科会に分かれて1日3回、3人でDLをさせられた事は、全く自信のない私には大変苦痛でしたが、2人のDLに助けられ、どうにか終えることができ、今は嬉しい思い出であります。

そして、藤中年度がやっと始まる訳ですが、地区では指導者セミナー、地区大会、年を越すと各グループのIM等が行われ、当然その間に補佐訪問、ガバナー公式訪問も終えた訳ですが、思えば各クラブの皆様には、不手際、ミスがあったにも関わらず、本当に快く接して頂き感謝々々です。又、4月には各クラブに御礼の訪問をさせて頂きました。後は会長幹事会の開催を最後に一応補佐の役目は終わります。補佐になり何の御役にも立てませんでしたが、いろいろな方々との出会いがあり、苦悩から、達成感に変わりました。関わりのあった皆様に感謝申し上げ、RI2710地区の益々の会員増強、活動を祈念致します。



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G5ガバナー補佐 秋田 京子

一年前ガバナー補佐としての任命を受け、不安いっぱいでお引き受けしたことが昨日のことのように思い出されます。

まず、藤中ガバナーの方針であります「時代の変化の先頭に立とう!!ロータリーの心で地域の創生を!!」、また継続事業であります「がん予防について」を円滑に実施するにあたり、グループ5の各クラブ会員の皆様にご理解とご協力をお願いいたしてまいりました。

その結果として、IMでは「ロータリーの魅力再発見!!」と題して各クラブのそれぞれ異なった素晴らしい奉仕活動自慢を披露していただいたなかで、如何に地域に密着して地域創生に役立っているかを確信いたしたところです。

がん予防に関しましては、各クラブとも着実に成果を出していただいております。

今後は是非G5で共有協力し、情報交換をしながら継続的

な奉仕活動に発展させていければと祈念しております。

また、RLIのディスカッションリーダーの役目を仰せつかり、最初は足も声も震えてどうなることかとの思いでいっぱいでしたが、幸い何とか無事終えることができ、結果多くの方々と意見交換をする機会に恵まれ、大変貴重な経験をさせていただきました。

この一年間、ガバナー補佐として勉強させていただき、たくさんの素晴らしいロータリアンの皆さんにお会いできましたことは、私の一生の宝物となりました。

無事職務を全うできましたのは、会長・幹事様および会員の皆様のご理解とご協力があつてと思っております。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

最後に、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしましてガバナー補佐退任のご挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G6ガバナー補佐 奥芝 隆

2016年7月のガバナー補佐決定から、どのように勉強すればと思い、まず「ガバナー月信」や「ロータリーの友」を今まで以上に隅から隅まで読むようにし、手続要覧にも目を通すようにしたものでした。

2016年10月10日第1回ガバナー補佐会議を迎えて、非常に身の引き締まる思いで、不安と緊張の中始まり、藤中ガバナーのお人柄に接し、なんとかお役に立てるよう各クラブとの連携を図り、「クラブの元気が地域の元気」をテーマに公式訪問を迎えることが決まり、またRLIディスカッションリーダー研修日程や地区大会、ガバナーエレクトを囲む次年度会長・幹事懇談会や、IM開催日程などの話になっていき、一段と大丈夫なのか、という気持ちになっていましたが、やらねばと思いRLIに臨んだものでした。

いよいよ7月からのスタート。まずは第6グループ7クラブへ各4回訪問させていただこうと、1回目は就任挨拶、2回目はクラブ協議会、3回目はガバナー公式訪問、4回目はIM開催参加へのお願いです。

各クラブ訪問では、各クラブの会長幹事さんを始め、会員の皆様には温かく迎えていただき、感謝でいっぱいです。例会に於いては、前と例会中の姿勢・態度等のメリハリの利いたすばらしい例会、握手を交わしたり、楽しい例会など様々でしたが、貴重な経験となりました。特に藤中ガバナーと共にクラブフォーラムで訪問させていただいた広島ロータリークラブでは、3年未満の会員、歴代会長、そして一般会員と約60名が出席され、思い出深いフォーラムとなり、さすが歴史と伝統あるクラブと実感したものです。そして、グループ6・7の合同インティミーティングは、今年は第7グループの広島中央ロータリークラブがホストをし、テーマは「ポリオ撲滅と米山奨学」がありました。まさにロータリアン全員に聞いていただきたかったと思っております。この大会の実行にあたり、ご尽力いただいた迫田ガバナー補佐、土肥実行委員長そして会員の皆様に深く感謝申し上げます。

この期間を振り返りますと、各クラブ幹事さんとの協議会やフォーラムの進行など、いろいろ打合せをさせていただいたこと

などを思い出し、私自身がガバナー補佐として果たして皆様の為、そしてクラブの為にお役に立てたのかと思っております。私は、会長さん、幹事さんを始めとする会員さんとの出会いが財産となりました。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G7ガバナー補佐 **迫田 勝明**

昨年度、広島中央ロータリークラブは、田原ガバナーのガバナークラブとして、非常に忙しい1年を過ごしてきました。それに引き続いて、今年度、私がガバナー補佐を担当する1年になり、クラブの皆様には多大なご協力を頂きました。先ずクラブの皆様に対して心から御礼を申し上げます。

ガバナー補佐としての1年間は、その前のRLI研修等、ほぼ半年にわたる準備期間を経て始まりましたが、同期のガバナー補佐の方々が大変優しく馴染みやすい方々だったので、私としましてはずいぶん助けられました。特に同じ広島地区のグループ6のガバナー補佐を担当された奥芝隆様には、IMを始め数多くの場面で、ご協力頂き本当に感謝しています。

ガバナー補佐の役割の一つに担当の7クラブを4回訪問することがありますが、その際には、補佐幹事の竹川誠一様、太田茂様に大変お世話になりました。御礼を申し上げます。そして、7つのクラブの活動に直接、接する機会を頂きました

最後になりますが、岡本ガバナー補佐幹事、助かりました。ありがとうございます。私にとってはロータリーの会員は「意中人有」がいっぱいです。ロータリーの友は「腹中書有」の一冊となりました。皆様、お世話になり、ありがとうございました。

ことは私にとりまして大きな経験となりました。各クラブの方々に御礼申し上げます。

更に、今年度はグループ7の広島中央ロータリークラブが広島地区のグループ6・7合同インターナショナルミーティングを担当する年に当たりました。講師に、JCHO理事長の尾身茂先生、元中国大使の丹羽宇一郎様をお招きし、「ポリオ撲滅と米山奨学～今、私達にできること」というタイトルで、開催しましたところ、多くの方々のご出席を頂き、無事終了できましたことは、私にとりまして大きな喜びがありました。開催に当たりましては、土肥博雄実行委員長、竹川誠一副実行委員長を始め多くの方々に協力を頂きましたことに、厚く御礼を申し上げます。

このガバナー補佐として過ごさせていただきましたことは、私にとりまして人生の大きな経験になりました。どうか今後ともよろしくお願ひいたします。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G8ガバナー補佐 **前垣 壽男**

藤中ガバナー年度のグループ8のガバナー補佐としての始まりは、2016年10月10日に開催されたガバナー補佐会議からスタートしました。私はここ数年ロータリー活動から遠ざかっていたので、久方ぶりのロータリー用語のシャワーに戸惑いを感じ「しまった。受けるんでは無かった!」との気持ちが強く沸いたものです。その後、RLI、研修会、協議会等参加するにつれて、又、公式訪問に出席する内に序々に、ロータリーの友情を感じつつ馴染んで行く自分を感じたものでした。補佐として参加した会合は約30回位でしたが、藤中ガバナーは2710地区全域をカバーしておられ、精力的に動いておられる姿を拝見するについて、尊敬の念と共に尻を叩かれる思いで一年間を過ごして参りました。

今思えば「受けたおいて良かった」と感じております。社会の変遷によって、又、経験によってロータリー観は変わってくるものですが、今年で入会45年目の私にとってロータリーの奥の深さを改めて認識させられました。「もし私がロータリーに入会していなかったなら…」と回顧してみたら、ロータリーの良さを知る機会はなかったのかもしれません。RIと日本ロータリーとの乖離(?)、会員減少に起因するクラブ運営の在り方等難問は尽きませんが、毎年新しいメンバーで組織運営されるロータリーの機構は、必ずその時代に応じて前に進んでいくものと強く感じました。組織は不連続の連続です。終わりの無いロータリー活動の素晴らしさを知り、一年間多くの方々から頂いた友情に対し感謝しつつ、御礼申し上げ報告とさせて頂きます。



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G9ガバナー補佐 福島 偉人

2016年5月のクラブ理事会でグループ9ガバナー補佐候補を決定し、この間、ガバナー補佐として2年余りロータリー活動を務めて参りました。2016年10月10日の第1回ガバナー補佐会議に始まり、2018年6月2日の最後のガバナー補佐会議をもって無事に務めが終わりますが、藤中秀幸ガバナーを始めグループ9の7クラブ会長、会員皆様のご協力により務めが出来た事とお礼申し上げます。ガバナー補佐としてグループ9の各クラブへ訪問した時には、会長幹事様を始め会員皆様の温かいお迎えを頂き大変感謝をしております。

各クラブとも同様な手続きで例会を開催されておりますが、各クラブの特徴があり、活動内容も歴史と伝統に裏付けられた深い味わいのあるもので大変参考になり、勉強させて頂きました。4回目の訪問を瀬戸田クラブに致しました折、少數会員のクラブですが、創立50周年事業を実施され、小学生70名にハッピを寄贈され、地域の活動（尾道市の「ええじゃん祭り」地元瀬戸田町の「レモン祭り」）などに活用されますことは、ロータリー活動が地域において理解される事でしょう。また、1名の会員増強（女性会員）があり、ガバナー補佐として喜ばしく思います。（尚、ハッピにあるロゴのデザインは子供たちがしました。レモン色です。）



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G10ガバナー補佐

小西 直人

ガバナー補佐(AG)の任期が6月末で満了します。5年前に就任の打診があったものを仕事の関係で固辞したこともあり、再度ご推薦をいただいた場合には、迷わず（ごねずに?）お受けしようと決めていたので、自分自身では納得して任につきました。1年間の感想は「楽しかった！」の一言です。

自分がなぜ楽しいと感じているのかを、分析してみました。
①新しい友人が増えたこと。藤中ガバナーをはじめガバナーを支える岩国中央RCの方々、何度も顔を合わせた各グループのAGの皆様、AG訪問した各クラブの皆様、地区事務局の皆様。
②AG訪問することで、他クラブの状況がよくわかったこと。どのクラブも、社会奉仕に、国際奉仕に、職業奉仕に、青少年奉仕に、クラブ奉仕に、新会員の増強に、本当に知恵を絞って活動されており、このような積み重ねがそれぞれのクラブの歴史を、またロータリーの歴史を作るのだと実感しました。③自クラブ内での

グループ9のIMは3月10日(土)に三原国際ホテルで開催されました。各クラブの会員数が減少し充分な予算を計上することが出来ないと考えて、地元三原市に縁のある方をお願い致しました。「ロータリーの心で地域の創生を」をテーマに7クラブ143名の登録者の中、第一部講演はヤマトホールディングス株代表取締役会長、木川真様に「ヤマトグループが進めるイノベーション—物流による新たな地域創生—」と題して分かり易くヤマトグループの取り組みのお話を頂きました。第二部講演は高松南RCパスト会長のマスウド・ソバハニ様に、「Aslot feshoma(アズロッドフェショーマ)—おかげさまー」と題して講話を頂き、生き立ちや多くの人の出会い、現在までの生き様を愉快にお話し頂きました。両講演会は参加者の心に深く訴えるものがあり、感動的なものになりました。懇親会はグループ9の各クラブの参加者がお互いに旧交を温め合う談笑の輪があちこちに見られ、時を追うに従って大きな渦となって盛り上がり、大盛会裡に終了しました。

この一年間のガバナー補佐として皆様方より頂いた友情とご協力を心から感謝申し上げ、本当にありがとうございました。最後に皆様のご健勝と益々のご活躍を心から祈念して、ガバナー補佐退任の挨拶とさせて頂きます。

友情が深まったこと。できの悪いAGを支えてくださるAG幹事、小西はAGで忙しいからと気遣いをしてくださるクラブメンバー、忘れ物や忘れ事のないようにと気を配ってくださる事務局。ただただ感謝です。

各クラブはIMの実行年度にはガバナー補佐を選出しなければいけません（本当は逆で、ガバナー補佐がいるのでIMを主宰するのですが…）。AGの役割を遂行するには確かにある程度の時間を割かなければいけません。自分自身が現業についていて、誰にも代理を頼めない状況の方もいらっしゃるでしょうが、時間の問題はほとんどの方が解決できる範囲のものであると思います。すべての会長経験者の皆様。あなたにもいつか、AG就任の打診が来ますよ。是非、笑顔で就任を承諾してください。そして、年度末のこの欄に「楽しかった！」と書いてください。



Rotary
District 2710



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G11ガバナー補佐 濱来 和男

本年度、各クラブの皆様には、公式訪問前のクラブ協議会そしてガバナー公式訪問を含め、計4回のクラブ訪問をさせて頂きましたが、大変温かくお迎えいただき、心より感謝申し上げます。アンH.S.ライズリーRI会長は、環境問題を踏まえロータリーアン一人が少なくとも一本の植樹をするよう提唱されました。これを踏まえ、グループ10の各クラブの皆様にもご協力頂き、グループ10・11の11クラブによる合同記念植樹を福山市のグリーンラインキャンプ場に478本のユキヤナギの植樹を実行し、福山市に寄贈しました。

当日は、各クラブ会長幹事をはじめ、総勢80名強の皆様参加の元、連携して汗を流す喜びを感じたと思っております。またIMでは、ガバナー信条であります『ロータリーの元気は地域の元気』を踏まえ、テーマを『連携して地域に出来ること』とし、開催を致しました。

プログラムの内容は、基調講演には枝廣福山市長をお呼びし、福山市の近未来の都市づくり構想及び地域との連携について大変わかりやすくお話を頂き、ロータリーが取り組むべきプログラムの参考になったと思います。また、11クラブの主だった地域との連携活動についても発表して頂き、これも各クラブの連携がもたらす意味合いを感じ取って頂いたように自画自賛しております。連携によってスケールメリットが得られるばかりではなく、我々ロータリーそのものを広く知つてもらう意味でも有意義だと考え、今後益々各クラブが活躍されることを望んでやみません。

最後に、藤中ガバナーの、“ひたむきな温かい情熱・思い・期待”に添えたかは疑問です。地区役員および関係者、事務局の皆様に感謝の意を捧げつつ退任のご挨拶とさせて頂きます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G12ガバナー補佐 明山 晃映

皆様の絶大なるご協力のもと、お陰を持ちましてグループ12ガバナー補佐の大役を無事終えようとしております。

当グループにおいては所属クラブである三次ロータリークラブより大変イレギュラーな状況ではありました。諸般の事情により急遽2年続けてガバナー補佐を輩出いたしました。

前任者より地区へ対し、次年度の補佐予定者を届け出る締切日前日、クラブより突如私にガバナー補佐をやってもらえないだろうかとお話しを頂きました。「青天の霹靂」あるいは「寝耳に水」のことで躊躇する中、考える時間も無く、翌日には「提出しておきましたから頑張ってくださいね」との前任者の温かい言葉で覚悟を決めたのが、一昨年2016年8月であります。

ご承知のように、ロータリーの準備期間は当該年度の前年度がスタートすると同時にその準備が始まります。10月第1回ガバナー補佐会議からいよいよスタート、第9期RLI2710の事前研修とDLで臨んだ3回の本番。当該年度が始まるまでにパワーを使い切った想いでした。

やっと7月、藤中年度がスタートと同時にグループ内5クラブへAG就任、クラブ協議会、ガバナー公式訪問、IMのPR、退任の挨拶とそれぞれ5回の訪問をさせて頂きました。その度に各クラブの熱心なロータリー活動に触れ、また各会長様のリーダーシップの素晴らしさに感激を覚えました。そして4月のIMでは藤中ガバナーの基本目標である「ロータリーの元気は地域の元気」のテーマのもと、各クラブとその地域との素晴らしい関わりを研修することが出来たと感じております。

振り返れば、地区とクラブの橋渡し役としては勉強不足で満足に遂行することが出来なかつたと反省しきりではありますが、各クラブのそれぞれの個性に触れさせていただき、私自身が各ロータリアンに育てて頂いたと心より感謝しております。最後に、一年間ご指導いただきました藤中ガバナーに感謝申し上げますとともに、グループ12各クラブの益々の発展を願い退任のご挨拶といたします。誠に有り難うございました。



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



地区代表幹事退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 安本 政人

岩国中央ロータリークラブ創立32周年にして、初めて藤中秀幸ガバナーを輩出することになりました。代表幹事として何をすべきか真剣に考え、とまどう事もありました。前年度橋本満代表幹事やグループ5内の田村邦夫代表幹事経験者をはじめ多くの先輩ロータリアンの皆様のご指導のお蔭で、無事代表幹事の役目を終えることができそうです。特に、地区委員を我がクラブだけでなく、グループ5内の各クラブより1名ずつ選任していただき大変ありがとうございました。貴重な戦力になりました。

ノミニー・エレクトと準備段階が重要であり、全体の50%以上は藤中年度スタート時点で終了している感じがありました。パストガバナーの表敬訪問では、東は福山から西は下関まで駆け抜けました。地区を運営する上での多くの示唆をいただきました。

沖田哲義地区研修リーダーの下、ガバナー補佐会議、3月のPETS、5月の地区研修・協議会を無事終え、順風満帆なスタートを切ることができました。ガバナーアイドに入り、7月10日の防府

ロータリーを皮切りに副代表幹事をはじめ各幹事の協力により、全73クラブを公式訪問することができました。私自身も30クラブを訪問し、勉強もさせていただき、歓待いただいたことを感謝申し上げたいと思います。10月の地区大会には、地区内外より1,800名以上の参加をいただき、盛会裡に終えることができました。IMIにも声を掛けさせていただき、4つのグループに参加しました。グループ3の会津松平家14代当主・松平保久氏の基調講演「明治維新と戊辰150年～会津の思い」を興味深く拝聴しました。4月には、韓国第3690地区の地区大会に参加し、旧交を温めてまいりました。6月下旬には、カナダ・トロントの国際大会に参加し、藤中年度の締め括りにしたいと思います。

最後に、ガバナー補佐並びに地区役員・委員の皆様、そして地区内ロータリアンの皆様に心より御礼を申し上げ、第2710地区の益々の発展を祈念してペンを置きます。



クラブ管理運営委員長退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会 委員長 瀬土 照章

2017-18年度2710地区クラブ管理運営委員長を辞するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

前年度の広島中央ロータリークラブ迫田勝明委員長から引き継ぎ、2018-2019年度の尾道ロータリークラブ高橋宏明委員長に引き継いで頂きました。

2017-18年度の地区研修・協議会において、大之木精二パストガバナーのご指導により、クラブ管理運営部門を運営させて

頂き、藤中年度の運営方針の説明及び、「クラブ戦略計画」をテーマに大之木PGカウンセラーの講話を頂きました。

大之木PGには大変お世話になりました、心より感謝申し上げます。また、前年の迫田委員長には、2017-18年度G7のガバナー補佐という大役の中、ご助言を頂きありがとうございました。

次年度のクラブ管理運営部門の運営が成功しますよう、心からお祈り申し上げます。



公共イメージ委員長退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 公共イメージ委員会 委員長 細川 芳朗

藤中ガバナーの地区運営方針の信条として「時代の変化の先頭に立とう」、基本的目標として「ロータリーの心で地域の創生を」と打ち出されました。この方針とRI戦略計画優先事項3の目標である「公共イメージと認知度の向上」という事項から、いかにロータリーに対する人々の認識を高め、職業奉仕を始めとする各奉仕活動に多くの市民の理解と共感を得て、更には

協力・参加を促すのがロータリーの認知度UPとしての公共イメージ(広報)の役目だと思っています。

コーディネーターNEWSによれば、アンケートでロータリーを知る人が意外にも少なく、また知っていてもその活動についてはほとんど知られていなかったという結果が出たそうです。改めて「ロータリーとは何か」「他の団体とどう違うのか」「なぜロータ

リーが必要なのか」がロータリアン一人ひとりに問われている課題ではないでしょうか。

この様な事から、HP(スマホ対応)・FB(WEBサイト)の作成・更新の推進をお願いし、地区協議会では、光RC様の市民・行政を巻き込んだ記念事業の事例発表をして頂きました。また地区大会では「岩国ミュージックフェスティバル」と銘打ち、プロのミュージシャンやアマのバンドによる同時アコースティックライブなど一般市民参加型として開催し、懇親会会場への移動に合わせて錦帯橋の河原にて岩国藩鉄砲隊保存会による発砲の実演をして頂き、参加者だけではなく多くの市民や観光客に



会員増強委員長退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会 委員長 安田 年光

昨年1月、不安を抱え、地区事務局員を交えた第1回地区委員会を開催しましたが、もう任務を終えることになりました。

地区チーム研修セミナーは、3月12日(日)に開催。全体会議で櫻井権司RI研修リーダーから「クラブの変革と柔軟性」、西村栄時地区カウンセラーから「クラブの活性化に向けて一会员の維持・増強を—」の講演、委員会別セッションでは土肥博雄委員長(広島中央RC)から引継ぎ資料を基に説明を受けました。

地区研修・協議会は4月23日(日)に開催。基本方針を説明し、会員増強事例発表をお願いし、広島東南RC・大井克元会員、福山赤坂RC・原隆之会員、周南西RC・原田康宏会員からそれぞれ、大変興味深い参考になるお話を聞いていただきました。DVD研修では『2016年規定審議会:「例会の柔軟性」「会員種類』を行い、最後に西村地区カウンセラーから「真の会員増・強を一更に輝きを増すために—」と題した講話と講評をいただきました。

地区指導者育成セミナーは8月27日(日)に開催。【クラブ活性化部門】では、西村地区カウンセラーから「クラブの活性化を目指

も良いアピールが出来たのではないかと思っています。またこの2月には、地区大会記念事業として、観光地であり市民の憩いの場所でもある紅葉谷公園に土壤改良を含めた植樹を行いましたので、今後新緑のモミジ、紅葉のモミジとして長くロータリーの広告塔のひとつとして市民の目を楽しませてくれると思います。

最後に、地区カウンセラーの東良輝PG、各クラブの公共イメージ委員会の皆様、地区事務局の皆様に心より感謝申し上げます。そして、次年度の尾道RC山本委員長の事業が成功しますよう心からお祈りいたします。

して一更に輝きを増すために—』の講演があり、【合同本会議】では、大之木精二地区戦略計画委員会委員長が「ロータリー戦略計画の理解と促進のために」と題し基調講演をされ、その後パネルディスカッションを開催しました。

テーマは『クラブアンケートより「クラブ運営の柔軟性について』』で、パネリストとして、西村栄時カウンセラー、大之木精二委員長、防府北RC・古松孝蔵会長、岩国RC・上田文雄直前会長、尾道RC・木曾昭彦会長にお願いし、モデレーターは私が務めました。会場からも数クラブを指名し、現状の報告をいただきました。

「個人奉仕」「職業分類制による一業種一会员制」「規則正しい例会開催と出席」そしてそれに基づき「職業奉仕と自己研鑽」がロータリーの基本と育てられた私としては、ロータリーの国際標準、組織、理念・思想について考えさせられる一年でした。西村栄時PG、大之木精二PG、沖田哲義PGをはじめ、PGやG補佐、地区会員の皆様のお陰で役を終えることができました。ありがとうございました。



奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会 委員長 長濱 僚昭

地区奉仕プロジェクト委員長の大役を仰せつかりましたが、任期満了退任となりました。前年度奉仕プロジェクト委員長の村上様(広島中央RC)にご指導いただき、また、地区研修セミナー、地区研修・協議会では各クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕委員長に助けられ、無事に終えることが出来ました。2017年4月23日開催の地区研修・協議会の分科会では、以下

の方々にパワーポイントを使用して講話や事例紹介をしていただきました。

職業奉仕:高田慎二様(徳山セントラルRC)から徳山小学校へ出前事業「大人に学ぶサポートプラン」を実施した報告をいただきました。社会奉仕:星田昌吾様(吉舎RC)より「ホタルの里プロジェクト」の推進を掲げ、ホタルの育つ環境整備、啓蒙活動



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

及び地区団体と共に河川清掃を、小学校の総合学習事業の一環として取り組んでいるとの報告をいただきました。国際奉仕:徳納武使様(広島西南RC)からカンボジアの児童施設建設(クラブ30周年記念事業)の報告をいただきました。又奉仕プロ

ジェクト委員長・長濱よりアンケート結果についての報告をしました。最後にカウンセラーの前田茂パストガバナーより講評と助言をいただき、有意義なセミナーとなりました。アンケート調査をはじめ、事務局の方々には、大変お世話になり、感謝申し上げます。



米山記念奨学会委員長としてのご挨拶

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 委員長 西本 守利

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、地区米山記念奨学会委員長の活動は単年度委員長ではなく、次年度委員長から始まり本年度委員長、前年度委員長で終わる基本的には3年間がセットとなっております。それ故に、今年は未だ2年目が終わっただけで未だ3年目があるんだと云う感覚でおります。特に昨年からスタートした2710地区米山記念奨学会委員会の組織改革は緒に就いたばかりで、次年度の清水委員長からは委員長も複数年度を担当する事となり、米山委員も現在の3名からまず5名に増員し、大学訪問を始めとする様々な委員会活動を積極的に展開して行く予定です。

この事は、米山記念奨学会本体が2012年に公益財団法人化され、活動内容も従来認められていた地区の独自性から全国34地区での共通性を求める形となり、活動内容が大きく

変化している事への対応を当地区としても求められているからです。本年も既に昨年まで開催して来なかった地区米山記念奨学生カウンセラー研修会の開催や地区米山記念奨学生面接官研修会の実施、広島大学や山口大学への学校訪問等も開始しており、この流れを受けて次年度はより一層の地区的組織改革と活動内容の充実を図る予定となっており、これらも清水次年度委員長のもとでの委員としての仕事が残っているので、未だ「一年を振り返って」の心境にならないのが今の偽らざる気持ちであります。そうとは言え、2710地区の73クラブの会員の皆様方には本年一年間多大なるご支援とご協力を賜りまして誠に有難うございました。特に各クラブの米山記念奨学会委員長、奨学生カウンセラーの方々には重ねて厚く御礼申し上げます。次年度も宜しくお願い申し上げます。



一年を振り返って

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会 委員長 伊賀 訓之

113年前に国際ロータリーが設立され、2017年にはロータリー財団が100周年を迎えました。そして、ロータリアンと支援者の皆様の多大なるご協力により、今年度寄付目標の3億6,000万ドルに順調に近づいています。これほどの資金があれば、今後もより一層多くの人道的奉仕のプロジェクトが実施出来ることでしょう。

また、国際ロータリーやロータリー財団の活動が充実するにつれ、ロータリー財団の評価も高まり、米国の慈善団体の格付け機関である「チャリティ・ナビゲーター」から10年連続で最高の4つ星評価を受けました。格付け対象となっている慈善団体のうち、10年連続で4つ星評価の団体はわずか1%であり、信頼性の高い団体であることが実証されています。ロータリー財団は、設立以来100年間に多くの「よいこと」を行ってきました。皆様のご支援があれば、さらに発展していくことが出来ます。引き続きのご支援をお願いいたします。

地区ロータリー財団委員会の活動としては、今年度初めての試みとして「複数クラブ合同グローバル補助金」を計画・実施い

たしました。2003年より、東広島21RC、西条RCのご尽力で1000人のボリビア水頭症患者を救ってこられました。今年度はその集大成として、最後のグローバル補助金を申請するにあたり、地区内クラブへ協力を呼びかけたところ、20クラブのご賛同をいただき、クラブ支援目標額47,000ドルを上回る60,000ドルのご支援をいただきました。プロジェクトは現在も実施中です。

また、今年度は優秀な4名の奨学生(グローバル補助金奨学生3名、地区補助金奨学生1名)を輩出しました。学生からの報告書を読むたび、ロータリアンの支援が人材育成に役立ったことを実感し、将来彼らが世界で活躍してくれることを確信します。報告書は地区ホームページにも掲載しておりますので、是非ご一読ください。

地区補助金については、15クラブより申請があり、すべて承認されました。これも皆様のご理解が深まった証拠だと思っております。

一年間ご支援いただき有難うございました。次年度も引き続きよろしくお願ひいたします。



Rotary
District 2710



国際ロータリー第2710地区 2017-18年度会員増減・出席率(2018年5月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月	本年度	入会	退会				年度初	当月	本年度	入会	退会				年度初	当月	本年度	入会	退会
7/1	末日	内女性						7/1	末日	内女性						7/1	末日	内女性					
1	長門	90.22	25	24	4	1	2	5	岩国	84.25	60	64	0	11	7	9	広島空港	85.03	27	27	3	0	0
	下関	74.26	49	45	1	3	7		岩国中央	89.05	44	44	3	0	0		因島	92.74	18	20	0	2	0
	下関中央	81.70	31	35	6	4	0		岩国西	85.34	59	62	4	3	0		三原	90.59	60	61	0	2	1
	下関東	75.07	54	58	3	6	2		柳井	100.00	33	32	3	2	3		尾道	80.32	78	82	2	6	2
	下関北	87.44	43	43	0	3	3		柳井西	96.53	24	25	3	3	2		尾道東	91.26	53	52	4	1	2
	下関西	81.24	35	33	1	1	3		計	91.03	220	227	13	19	12		瀬戸田	79.39	5	5	1	1	1
	計	81.66	237	238	15	18	17		広島	99.53	115	120	1	14	9		竹原	92.50	32	33	4	1	0
2	萩	95.86	57	55	0	4	6	6	計	87.40	273	280	14	13	6		計	87.40	273	280	14	13	6
	萩東	97.32	22	25	1	3	0		府中	90.27	26	26	0	0	0		福山	95.91	81	80	0	10	11
	美祢	81.74	24	23	0	3	4		福山東	91.26	48	48	2	0	0		福山丸之内	95.15	31	31	1	2	2
	小野田	80.52	35	36	3	3	2		鞆の浦	88.91	23	25	0	3	1		福山REC2710*	99.72	21	21	4	1	1
	宇部	93.61	46	45	3	5	6		計	93.54	230	231	7	16	15		計	93.54	230	231	7	16	15
	宇部東	67.71	14	13	2	1	2		福山赤坂	79.34	48	52	7	4	0		福山北	92.17	42	41	0	1	2
	宇部西	89.71	53	52	3	3	4		福山南	86.28	57	59	2	4	2		福山西	97.85	40	41	4	2	1
	計	86.64	251	249	12	22	24		松永	90.07	53	54	3	2	1		計	89.14	240	247	16	13	6
3	防府	91.35	54	60	2	8	2	7	計	吉舎	95.68	18	16	0	0	2	江田島	91.00	18	18	0	3	3
	防府北	85.85	17	20	1	4	1		東広島	97.04	33	35	2	3	1	東広島	97.04	33	35	2	2	2	
	防府南	90.49	37	37	7	3	3		東広島21	77.65	18	16	4	0	2	東広島	77.65	18	16	4	0	2	
	山口	87.32	50	53	4	8	5		吳	92.40	65	68	0	11	8	吳	92.03	32	33	1	3	2	
	山口県央	92.69	30	33	2	4	1		吳南	90.39	59	61	3	2	0	吳南	90.39	59	61	3	2	0	
	山口南	87.87	41	42	4	4	3		西条	99.70	38	39	3	4	3	西条	99.70	38	39	3	4	3	
	計	89.26	229	245	20	31	15		計	91.46	263	268	13	25	20	第2710地区計	90.42	3251	3321	172	276	206	

※正式名称「福山ロータリーEクラブ 2710」

特別コラム

日本のロータリー誕生とわが地区史⑬(最終回)

国際ロータリー第2710地区バストガバナー 西村栄時

ながら35年を経過した。互いの地区大会にはガバナーを先頭に数十名が訪問し、青少年の交換事業などを継続実施している。

地区の現状と課題

今年度は1977年7月から広島・山口県で地区を構成して40年の節目にあたる。この間、27のクラブが誕生し、会員数は最盛期に4282名を記録した。しかし、日本経済の減速や社会の価値観の変化などにより会員は約1000名を失い、山口中央、油谷湾の2クラブを消滅させた。今なお厳しい社会環境にあるが、更に消滅クラブを生じさせないよう、小規模クラブはロータリー精神を失わないことを条件に大胆な柔軟性を取り入れ、存続策を講じなければならぬ。また歴史あるクラブや大・中規模クラブは、ロータリーの真髄を会員相互で確認し合い、良質な職業人・誇り高いロータリアンを一人でも多く育てることを主眼に置き、会員増強が人頭分担金確保を促すと思えるRIとの違いを明確にしたい。

地区に統一事務所が設けられたことは地勢上画期的なことである。これを生かし、厳しい現実に処した地区内クラブの支援策を強化しなければならない。

会員一人ひとりがもっとロータリーを知り、好きになり、愛着を込め、ロータリーを楽しんで欲しい。(完)

(敬称略)

姉妹地区(韓国3690地区)

わが地区には、中国5県をテリトリーとした『369』の縁が今一つ存在する。韓国の姉妹地区RI3690地区である。1982-83年度ガバナー大之木隆男(吳)は、ガバナーエレクトの研修が行われる国際協議会で流ちょうな日本語を話す耳鼻科医師李永好(仁川クラブ)と邂逅する。大之木はかつてのわが地区的番号『369』を有する李ガバナーエレクトに懐かしさと親しみを感じ意気投合。末永く友好関係を発展させ、日韓の更なる親善を互いに誓い、1983年6月23日、地区姉妹縁組を締結した。地区同士の姉妹関係は極めて珍しいと言われる中で、3年毎に更新の調印式を行い

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

新会員紹介



謹んで追悼の意を表します

■職業分類
電気設備通信工事業
福山南 RC
故 村田 昇 殿
2018年5月13日 ご逝去
(享年62歳)

一年を振り返って

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 月信編集委員長 藤重 英格

長いようで短かった一年が過ぎようとしています。この一年、月信編集委員長としての重責を果たせたのか…甚だ疑問ではありますか、委員会メンバーと共に編集・校正作業等を繰り返し、年間を通して発行することができました。これも偏に寄稿いただいたパストガバナー、各委員会委員長の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。また、特色あるガバナー月信にと、地区ロータリーの歴史を毎回執筆いただいた岩国西RC・西村栄時パストガバナーには大変お世話になり、心から御礼申し上げます。個人的にも大変勉強になりましたし、記事を読んでいただいた皆様の見識を広める機会となったのなら、幸いに存じます。その他、国際ロータリー事務局の皆様はじめ、多くの方々のご協力をいただきました。この貴重な経験を今後のロータリー活動に活かしたいと思っております。本当にありがとうございました。